

案件名	「2012 サン・クロレクラシックゴルフトーナメント」におけるカーボン・オフセット	
申請者	株式会社サン・クロレラ	
案件の概要	<p>サン・クロレラ クラシックとは 2000 年に開始し、2004 年より小樽カントリー倶楽部で開催されるゴルフトーナメントである。昨年に続き環境配慮を促すゴルフトーナメントとしてカーボン・オフセットを実施するもの。カーボン・オフセットの範囲は、会場電力使用量やテレビ中継に伴う電力使用量、ギャラリーバス・ゴミ収集車の運送、運営者の移動、印刷配布物等を設定し、37t-CO₂ の CO₂ 排出量を釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクトを用いてオフセットする。</p> <p>釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクトは、サン・クロレラが北海道釧路湿原を一望する土地でシラカバの森を育て、間伐をして適正に森の健康を管理し、温室効果ガスの吸収率を継続的に増大させる取り組みから生み出されたものである。</p>	
認証区分／タイミング	I-2 会議・イベント開催オフセット／オフセット予定認証	
カーボン・オフセットの主体(帰属先)	サン・クロレラ クラシック 大会事務局	
算定範囲	<p>2012年7月24日～30日までの会場の電力使用、運営者の移動、来場者の移動に伴い発生するCO₂排出量の内ギャラリーバスの運行、廃棄物処理輸送及び処理、テレビ中継に伴い発生するCO₂。</p> <p>チラシ・ポスター・ペアリング・観戦バック等の作成に伴い発生するCO₂。</p>	
オフセット量 / 算定排出量	37t-CO ₂ / 36,161.797kg-CO ₂	
クレジット種別	オフセット・クレジット(J-VER)	
プロジェクト名	釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクト	
無効化日	2012年12月19日	
情報公開	情報提供事項	記述欄
カーボン・オフセットに関する説明	申請者名(認証取得者名)	株式会社 サン・クロレラ
	カーボン・オフセットの主体の特定	サン・クロレラ クラシック 大会事務局
	認証対象活動	I-2 会議・イベント開催オフセット
	認証有効期間	2012年3月26日～2013年2月28日
カーボン・オフセットの仕組みの説明	<p>カーボン・オフセットとは、個人や企業活動により排出する温室効果ガス排出量を認識し、それを削減する努力を行い、それでも削減しきれない温室効果ガス排出量の全部または一部を、別の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ(相殺)する仕組みである。</p>	
カーボン・オフセットに関する説明	地球温暖化対策の喫緊性の説明	<p>地球温暖化に関する影響は、世界各地で起こっている砂漠化や海水温・海面の上昇など、かなり脅威なものであった。しかし日本で暮らす私たちは、それらをなかなか身近に感じられず、TVの中のどこか遠い国の出来事のように感じてしまう側面も否定できなかった。</p> <p>近年、記録的な猛暑が続き、ゲリラ豪雨の名で知られる降雨が観測され、私たちの身近な所まで地球温暖化を感じる様になった。天変地異が我々の地球全体で起こっている現実を踏まえ、各自が環境問題に意識を向け、一歩でも取り組みはじめる事が急務となっている。このイベントでの呼びかけの様な啓蒙活動を通じて、地球温暖化が「待ったなし」であると誰もが身近に感じ、一人一人が地球温暖化防止、低炭素社会実現の為に今出来る行動を実施していかなければならない日は、「い</p>

		つか近い将来」ではなく「今、この時」なのである。
算定対象範囲	認証対象活動における温室効果ガス排出源	会場の電力使用に伴い発生するCO2排出量 運営者の移動に伴い発生するCO2排出量 来場者の移動に伴い発生するCO2排出量 廃物処理輸送及び処理に伴い発生するCO2排出量 テレビ中継に伴い発生するCO2排出量 印刷物の製造に伴い発生するCO2排出量 観戦バッグの製造に伴い発生するCO2排出量
	算定対象範囲	【前準備 2012年7月24日】 ・会場の電力使用に伴い発生するCO2排出量 ・運営者の移動に伴い発生するCO2排出量 【イベント実施期間 2012年7月25日～29日】 ・会場の電力使用に伴い発生するCO2排出量 ・運営者の移動に伴い発生するCO2排出量 ・来場者の移動に伴い発生するCO2排出量の内ギャラリーバスの運行により発生するCO2排出量 ・廃棄物処理輸送及び処理に伴い発生するCO2排出量 ・テレビ中継に伴い発生するCO2排出量 【撤収 2012年7月30日】 ・運営者の移動に伴い発生するCO2排出量 【印刷物】 ・チラシ、ポスター、ペアリング等の作成に伴い発生するCO2排出量 ・観戦バッグ作成に伴い発生するCO2排出量
算定方法、算定排出量	算定排出量、及びオフセット量もしくはオフセット比率	算定排出量 36,161.797kg-CO2 オフセット量 37t-CO2 オフセット比率 100%
	算定方法(算定式、及び算定方法の根拠とした文書)	<算定式> 排出量 = 活動量 × 排出係数 (車両の移動) $\text{移動距離} \div \text{燃料消費率} \times \text{単位発熱量} \times \text{GHG 排出係数}$ (廃棄物処理) $\text{廃棄物量} \times \text{GHG 排出係数}$ (印刷物) $(\text{チラシ・ポスター等}) \text{使用枚数} \times \text{単位重量} \times \text{面積} \times \text{GHG 排出係数}$ (観戦バッグ)電力使用量 × GHG 排出係数 (会場電力・テレビ中継準備) $\text{電力使用量} \times \text{GHG 排出係数}$ (運営者の移動) $\text{飛行機: 距離} \times \text{燃料消費率} \times \text{GHG 排出係数} \times \text{人数}$ $\text{車両: 距離} \div \text{燃料消費率} \times \text{単位発熱量} \times \text{GHG 排出係数} \times \text{台数}$ <算定根拠> 日本製紙連合会・LCA 小委員会・紙・板紙のライフサイクルにおけるCO2排出量 http://www.jpa.gr.jp/file/release/20110318021915-1.pdf 日本洋紙板紙卸商業組合 http://www.jpbwa.com/standard.html

削減努力の実施	認証対象活動等に係る排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース等で、省エネや環境に関するパネル等を設置し、参加者へアピールする ・プロアマゲスト／一部アルバイトおよびスタッフの集団移動 ・コースへの植林(台風被害後) ・ゴルフ場への電気使用量制御システムの導入 ・テレビや新聞等の媒体を通じてカーボン・オフセットの取組を訴える ・可能な限り詳細な廃棄物分別ボックスを用意し、参加者にも協力を呼びかけ、環境意識を持たせる。 ・分別回収したものはリサイクル業者に引き渡す ・看板／パネル等の資源はできる限り再利用する。
	申請者自身の排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ冷房時室温28℃、夏季軽装の実施および、ウォームビズ暖房時20℃の推奨 ・蛍光灯の間引きを実施、電気使用の大幅な削減を達成し、継続して活動中 ・リサイクル可能な文房具の回収、データ化できる書類を整理しファイルを再利用するリユース活動開始 ・紙資源の無駄遣いを減らすため裏紙/両面印刷、モノクロ印刷の社内推奨始 ・焼却処分していた事業ごみをダンボール、古紙、新聞と分別し資源ごみとしてリサイクル ・ペットボトルのキャップを集め資源リサイクルするとともにエコキャップ推進協会に協力
	オフセット主体に対する削減努力の促進に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・サン・クロレラ クラシック大会事務局で打合せをする際は、極力公共の交通機関を利用して移動しております。また車を利用する際は、レンタカーを借り、集団行動を心がけている。 ・日頃から廃棄物の分別を行っている。
	オフセットに用いるクレジットの調達及び排出量の埋め合わせ	クレジットの種類
	認証制度名	J-VER制度
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクト
	プロジェクトタイプ	R001: 森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)
	クレジットの調達状況・調達期限・通知方法	調達日: 2012年 11月 29日 サン・クロレラのJ-VER口座簿から三菱UFJリースのJ-VER口座簿へ移転済み
	クレジットの無効化状況・無効化方法	三菱UFJリースJ-VER口座簿からJ-VER登録簿の無効化口座簿へ移転
販売価格・その他支払いに関する事項	商品・サービス当たりの販売価格	なし
	消費者の価格負担(料金への上乗せ)の有無	なし
	その他支払いに関する事項(申し込みの有効期限、不良品のキャンセル)	なし

有効期間満了：2013年2月28日

	ル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等)	
販売事業者情報	販売事業者名	—
	運営統括責任者名	—
	連絡先(所在地、電話番号、e-mail)	—
	ウェブサイトリンク先	—